

「保健医療科学」
第 53 卷 第 3 号 予告

保健医療分野における QOL 研究の現状 (仮題)

保健医療分野における QOL 研究：総論 (仮題)	松田智大
尺度開発等, QOL 測定の方法論 (仮題)	土井由利子
QOL 研究における統計的手法 (仮題)	山岡和枝
特定疾患と QOL (仮題)	杉江拓也
がんと QOL (仮題)	下妻晃次郎
高齢者と QOL (仮題)	古谷野亘
看護における QOL (仮題)	平野かよ子

編 集 後 記

今回の特集は「学校保健危機管理」です。学校保健は医療保健関係者からは最も遠い存在のように感じられるのは小生だけであろうか。

「生涯にわたる人の健康の保持・増進、疾病および障害の予防」を考える上で 6 歳からの学校在学中の健康管理が継続的に十分に出来ないことは大変心配なことである。これはご存知のように厚生労働省と文部科学省の縦割り行政の弊害と思われる。保育園と幼稚園の幼保一元化も問題になっており、生涯の健康を考える上で保健医療についても幼児期、学童期、青少年期、成人期と一貫した対応が必要になるであろう。

保健医療関係者は学校保健の課題を知った上で、学校での子どもたちの健康問題に積極的なアプローチを試みるべきである。本特集号が少しでも役立てば幸いである。

(田中哲郎)